

原子力機構サイクル工学研究所 プルトニウム燃料第三開発室 における分電盤内の焦げ跡の確認について(速報)

下記のとおり、原子力安全協定に基づく事故・故障等に該当する事象が発生したので、お知らせいたします。

記

1 発災日時

2025年5月23日(金) 10時 5分頃
県への第一報 10時21分

2 発災場所

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(原子力機構)
核燃料サイクル工学研究所(所在地:東海村)
プルトニウム燃料第三開発室 排気室【管理区域】

3 状 況

(1) 事象の概要

- ・ 本日(5/23)10時5分頃、核燃料サイクル工学研究所 プルトニウム燃料第三開発室排気室(管理区域)において、原子力機構職員が、排気ガスモニタ設備に関する修繕の準備作業を行っていたところ、同設備に係る分電盤内の端子台に焦げ跡を発見した。
- ・ その後、原子力機構は10時8分に公設消防へ通報し、11時17分、公設消防により「火災」と判断されるとともに、同時刻に鎮火の状態が確認された。
- ・ 本件火災は、原子炉等規制法に基づく報告事象には該当しないが、原子力事業所敷地内における火災は、原子力安全協定に基づく事故・故障等に該当する。

(2) 放射性物質の漏えい; なし

(3) 環境への影響; なし

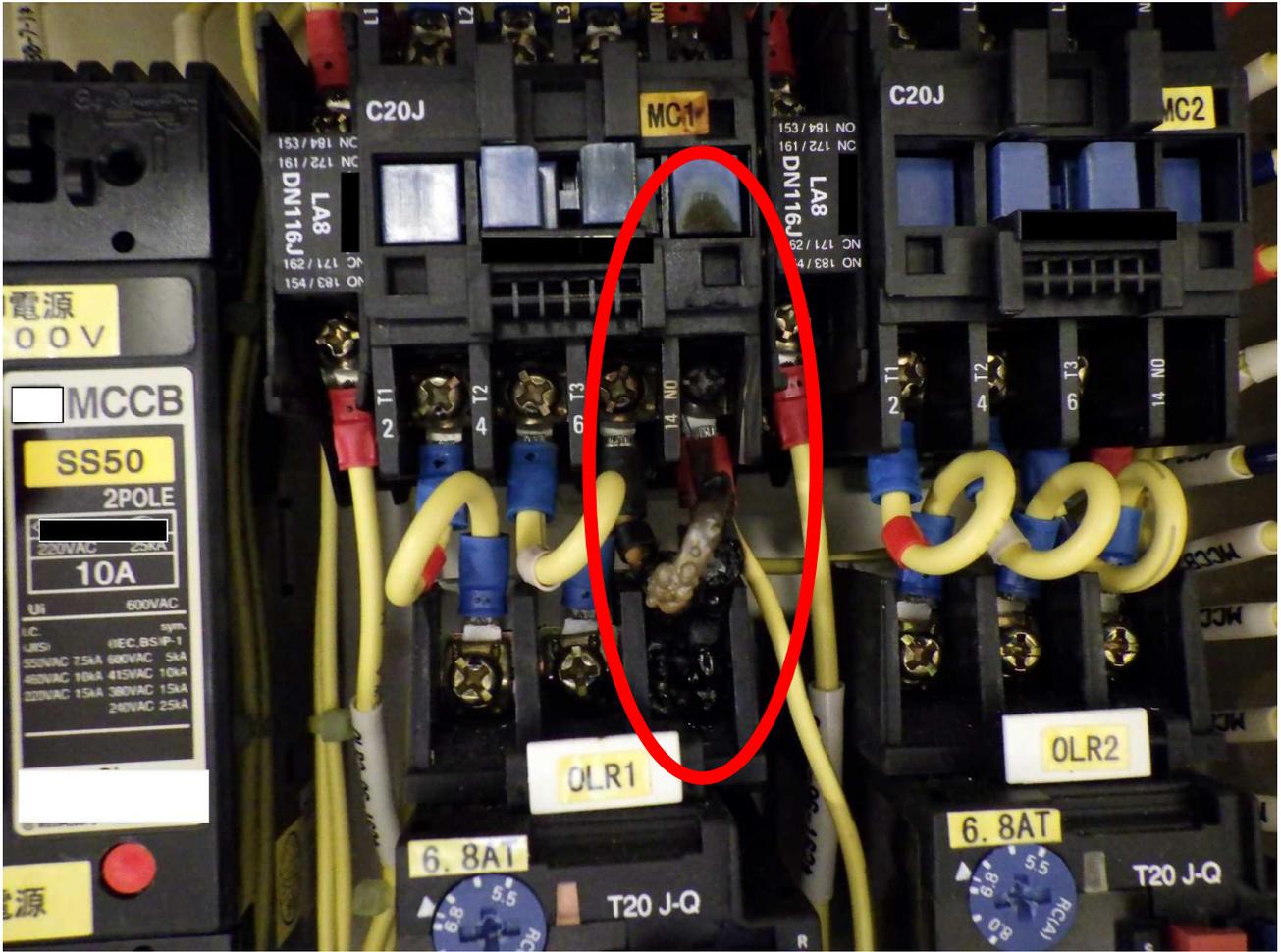
(4) 人の汚染・被ばく; なし

【添付資料】

- ・ 核燃料サイクル工学研究所 施設配置図
- ・ 状況写真



核燃料サイクル工学研究所 施設配置図



状況写真

※原子力機構 核燃料サイクル工学研究所 提供